

—介護に笑顔と安心を！— 介護ウェーブ 2017 推進ニュース

2017年11月20日発行 NO.12

いのち輝く未来に!!



★11月11日「いい介護の日」前後の各地の取り組み紹介★



京都

11月12日、四条河原町交差点で「介護ウェーブ2017秋」宣伝行動を行いました。京都の特徴は自分の声で、自分の言葉で利用者さんの代弁者となってリレースピーチをすることです。介護職委員会が中心になり、宣伝グッズの準備をして、当日は70名の参加となりました。今年は宣伝力アップにつながるように京都民医連でお揃いのTシャツを作成しました。同日には京都府内の事業者、利用者・家族、研究者が発起人となり「介護をよくする京都の会」を立ち上げました。



神奈川

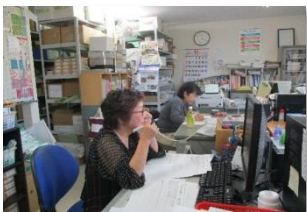
11月11日に介護の日行動学習会を開催しました。第1部では、裁判の証人でもあるあずみの里の職員の長澤健一さん、森山明さんを迎えて、生々しい検察の尋問内容について報告を受けました。第2部では、横浜駅西口であずみの里裁判署名・介護保険制度の改善署名・宣伝行動を行いました。長澤健一さんからは、「講師という形でしたがこちらの方が感動をいただきました。皆さんの宣伝行

動や裁判支援に対する力強く、温かい気持ちが伝わりました。皆さんとの繋がりを実感し、強い気持ちで尋問に望めます」と感想をいただきました。



宮崎

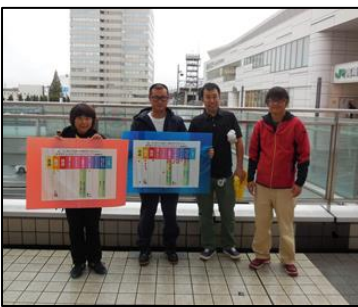
11月11日「いい介護の日」恒例の介護ウェーブ署名行動を行いました。宮崎市内ではコープ花ヶ島店、延岡ではコープ浜町店前で介護報酬改善、介護現場の改善等を訴えました。延岡では署名に協力して下さった方から「家族を介護していて大変です。頑張ってください」など励ましの声かけもいただきました。来年は医療・介護報酬の同時改定です。署名活動で少しでも介護保険制度を改善できるよう頑張ります。



本部では介護・認知症の「電話無料談」を行いました。今年は「認知症の人と家族の会」の相談員さんがご協力下さいました。宮崎医療生協のケアマネと相談員さん計5名で対応。NHKで案内があり10時の開始直後から相談の電話がかかりました。介護に関する不安や認知症の家族への対応など内容は様々です。時間をかけて丁寧に対応しました。介護者の悩みは深く、少しでも寄り添えるよう今後も継続していきたいと思います。



群馬



10月21日高崎駅東口で介護ウェーブ行動を行いました。「自分自身が介護を受けるとしたら、どんなことを重視しますか？」という設問のシール投票を実施しました。10代～70代くらいの男女30名程が足を止めて投票くださいましたが、世相を反映してか「費用」の面を重視する回答が多くありました。また、民医連の綱領にもある「安心・安全」については10代の男性が投票する姿もあり、民医連の介護を知って頂き、更なる広がりを探るためにも、介護ウェーブ行動を継続していきたいと思います。



10月26日、木嶋日出夫弁護士・あずみの里の介護主任の市川裕大さんを迎え「特養あずみの里裁判を学び、介護の未来をみつめなおそう」学習会を開催しました。講演翌日27日には松本地裁で公判が行なわれるなど、緊迫する中での講演で、「この裁判で無罪を勝ち取ることへの思いを新たにしたい」という意見が多く聞かれました。学びを職場・事業所へ情報共有し、署名活動等の理解と共感を一層広げていきましょう。



福井

つるが群介護職委員会では、11月6日～11日を行動週間とし「ひとり一行動・介護署名行動」に取り組みました。ショッピングセンター前と商店街で署名・宣伝行動を行いました。組合員ルームで「おしゃべり会&きらり写真展」では「写真を見ると利用者と職員の信頼関係がわかりますね」との嬉しい言葉をいただきました。



福島

11月11日福島駅前にて「介護ウェーブ」を実施しました。今年で9回目になります。事前に署名の内容について学習したこともあり、若手の職員も積極的に一人ひとりに自分の言葉で声をかけていました。「利用料が増えるのは困る」「自分が介護してもらえないから」「知り合いが介護をしているから良く分かるので」と多くの方が足を止めて署名をして下さり、関心の高さがうかがえました。

今後も、誰もが安心して老後を迎えるために、あって良かったと思える介護保険制度となるような活動を続けていきたいと思えます



福岡

11月4日福岡市のRUN伴が行われました。「私たちは認知症であってもなくて、安心して暮らしていけるまちづくりを応援します」を合い言葉にRUNの活動に参加しました。認知症に対する啓発活動をすると共に「無差別平等の医療・介護の実現」に向けて必要なことだと思います。



11月11日「いい介護の日」行動を福岡市の天神で署名・宣伝行動を行いました。とても寒い中でしたが、立ち止まって署名に協力いただきました。介護の問題は、高齢者だけの問題ではなく、若い世代の方々にも関係があることを強調して宣伝しました。

大阪

11大阪では、県内5カ所で同時に署名・宣伝行動を行いました。総勢284名が参加し、署名349筆を集めました。街での反応は良く、若い世代の署名が目立ち、中には1度通り過ぎて戻って署名して下さる方もいました。同業者の方も何人も足を止めて「頑張って下さい」とエールをいただきました。他の特養に勤めている男性が訴えに共感してくれ、自分の施設でも署名に取り組んでくれるということで用紙をお渡ししました。ビラを受け取った人からは、「議員の給料減らして、介護にまわしてあげないといかん！」との話も聞かれました。



<団体署名・ひとことカード・困難事例調査をすすめましょう>

千葉では民医連外の事業所360事業所、宮崎では111事業所に団体署名・ひとことカードの協力を要請し、民医連内外の法人・事業者からたくさんの団体署名・ひとことカードが届いています。「介護保険制度に起因する困難事例調査」については、青森・大阪・兵庫の事業所から届きました。現場から生の声を届けて下さい。

団体署名、ひとことカードは12月はじめに提出を予定しています(厚労省・財務省宛て)。民医連内各法人の署名・ひとことカードも合わせてお送り下さい。

★当面の国会行動の予定★

○11月29日(水) 10:30~15:00 衆議院第二議員会館第5会議室

○12月7日(木) 13:00~15:15 参議院議員会館B109会議室

①利用者・家族の声や現場の実態を、事例集や写真など形として残るものにして持ち寄り訴えましょう。

②あらかじめ、地元選出の議員へアポイントをとってご参加下さい。

★国会集中行動で議員と懇談した写真や各地の特徴的な取り組みで記事に載せたいことがありましたら事務局のメール宛に送ってください。

「介護ウェブ推進本部」事務局：小又・東 TEL：03-5842-6451 FAX：03-5842-6460 E-mail：min-kaigo@min-iren.gr.jp